

mitsubishi

三菱電機スポットエアコン（冷媒R410A対応）

取扱説明書

セパレート天吊形 MDC シリーズ

セパレート壁掛形 MDK シリーズ

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	2
故障をさけるために必ず守ること	5
各部の名称とはたらき	6
ご使用方法	7
お手入れのしかた	16
長期間ご使用にならないとき	20
ようすがおかしいとき	21
保証とアフターサービス	23
別売部品	25
仕様表	26



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

このたびは三菱電機スポットエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』と共に、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡してください。
- お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）







安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。

●表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●図記号の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。
	必ず指示に従ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	絶対に水を掛けないでください。

⚠ 警告

長時間直接お肌に風をあてない

●体調悪化や健康を損なう原因になります。



吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子さまにご注意を！

●内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



エアコンおよびリモコンを水洗いしない

●ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。



お客さま自身で分解・修理・改造はしない

●不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。



パネルやガードを外さない

●機器の回転物・高温部・高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。



異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

●異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。



元電源の取付位置を確認する



電源は専用回路とし、且つ定格の電圧、遮断器を使用する

●異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



漏電遮断器を取付ける

●取付けていないと、感電する場合があります。



据付工事は、据付説明書に従って確実にを行う

●据付けに不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



据付けは製品質量に十分耐える所に確実にを行う

●強度が不足している場合は、製品の落下・転倒によるケガの原因になります。



小部屋に据付ける場合などは、換気対策を行う

●万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策が必要です。冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



濡れた手でスイッチを操作しない

- 感電の原因になります。



電気部品に水（洗浄水等）をかけない

- 電気部品に水（洗浄水等）がかかると、感電・発煙・発火の原因になります。



冷媒ガスが漏れている場合、運転を停止し換気する

- そのままにしておくと、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご連絡ください。



⚠ 注意

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

- 不完全燃焼の原因になります。
- エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。



特殊用途に使用しない

- 精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。



殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

- 火災・変形の原因になります。



ユニットの上に花瓶等水の入った容器を載せない

- 水がこぼれたときユニット内部に浸水し、感電や故障の原因になります。



直接風があたる所に動植物を置かない

- 動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



ユニットの下に濡れて困るものを置かない

- 湿度の高いときや、ホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



ユニット内部の金属エッジに素手で触れない

- ケガの原因になります。



可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは据付けない

- ガスが洩れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



吹出ダクトには強い衝撃を与えない

- ダクトに強い衝撃を与えると脱落し、ケガの原因になります。



水平で丈夫な場所で使用する

- 使用中にユニットが倒れると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



ユニットの上に乗ったり、ものを載せたりしない

- 落下・転倒によるケガの原因になります。



圧縮機や冷媒配管などに素手で触れない

- 冷媒の状態により高温あるいは低温になり、火傷・凍傷の原因になります。



フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

- 落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

- 目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



リモコンを据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所には取付けない。



使用される別売部品は当社指定品であること



- 別売部品は、必ず当社指定のものであること。不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

アース工事を行う



- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する



- 酸素不足の原因になります。

リモコンを先がとがった物で押さない。



- 故障の原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない



- ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

ドレン配管は確実にを行う



- 配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

粉が浮遊する作業場等では使用しない



- 粉じんなどにより機器の故障や健康を損なう原因になります。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る



- 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

エアコンの下方に食品を置かない



- ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

室内を薬品消毒のときにはエアコンを停止する



- 薬品が飛散し危険です。

室内を薬品消毒のあとには、必ず換気をし、4～5時間送風運転を行う



- エアコンに付着した薬品が吹き出すおそれがあり危険です。

故障をさけるために必ず守ること

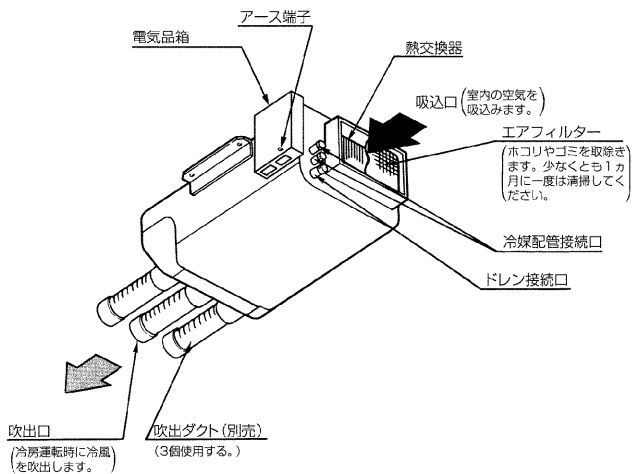
使用上のご注意

<p>エアフィルターを外したまま使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部にゴミがつまり、故障の原因になります。 		<p>吹出口、吸込口の近くに物を置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●能力低下や故障の原因になります。 			
<p>運転中に停電したとき、運転スイッチを切る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●停電が回復したのち、あらためて運転スイッチを入れてください。 		<p>冷媒（フロンガス）についてのご注意</p> <p>このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いいため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。 (冷媒が漏れた時の処置)</p> <p>万一冷媒が漏れた時には、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。</p> <p>次の場所への据付けは避けてください</p> <p>本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ ●粉や蒸気が多量に発生するところ ●酢（酢酸）を多量に使用するところ ●油煙がたちこめるところ ●温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ ●海浜地区など塩分の多いところ ●積雪により室外ユニットが塞がれるところ 			
<p>運転可能温度、湿度範囲を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●範囲外で使用すると、保護装置作動による異常停止や故障の原因になります。 ●各機種の運転範囲は次のとおりです。 					
MDC	<table border="1"> <tr> <td>室内</td> <td>乾球温度14℃、相対湿度60%～乾球温度45℃、相対湿度40%</td> </tr> <tr> <td>室外</td> <td>乾球温度-5℃～43℃</td> </tr> </table>		室内	乾球温度14℃、相対湿度60%～乾球温度45℃、相対湿度40%	室外
室内	乾球温度14℃、相対湿度60%～乾球温度45℃、相対湿度40%				
室外	乾球温度-5℃～43℃				
MDK	<table border="1"> <tr> <td>室内</td> <td>乾球温度19℃、相対湿度65%～乾球温度45℃、相対湿度40%</td> </tr> <tr> <td>室外</td> <td>乾球温度-5℃～43℃</td> </tr> </table>	室内	乾球温度19℃、相対湿度65%～乾球温度45℃、相対湿度40%	室外	乾球温度-5℃～43℃
室内	乾球温度19℃、相対湿度65%～乾球温度45℃、相対湿度40%				
室外	乾球温度-5℃～43℃				

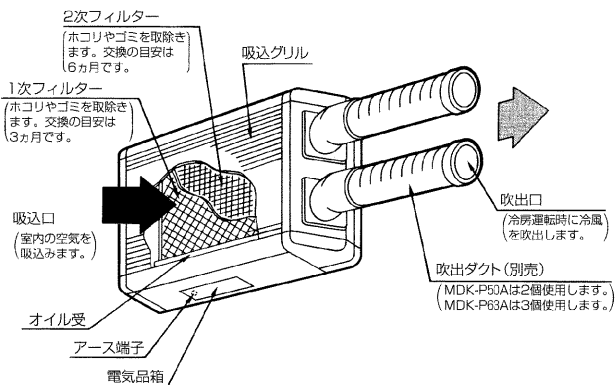
各部の名称とはたらき

室内ユニット

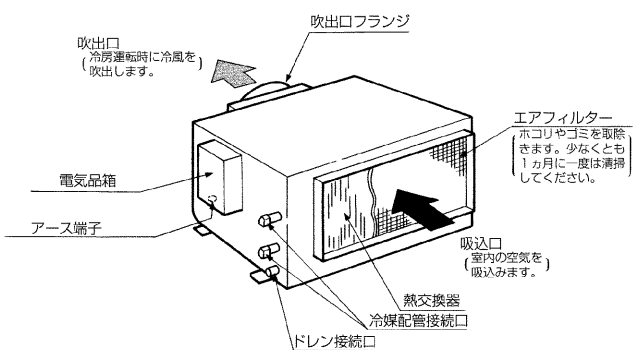
MDC-P63LA



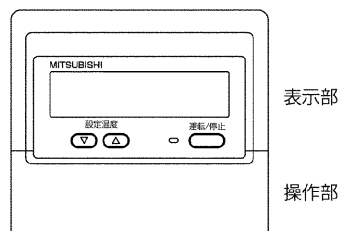
MDK-P50・63A



MDC-P90・160LA



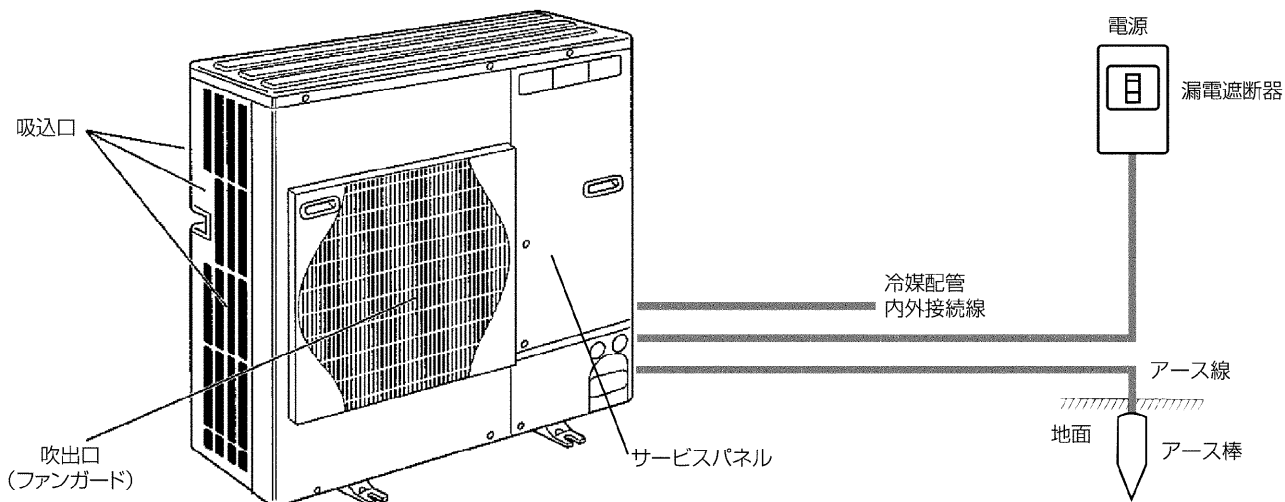
リモコン



ワイヤードリモコン (別売部品) (詳細は7ページを参照してください。)

室外ユニット

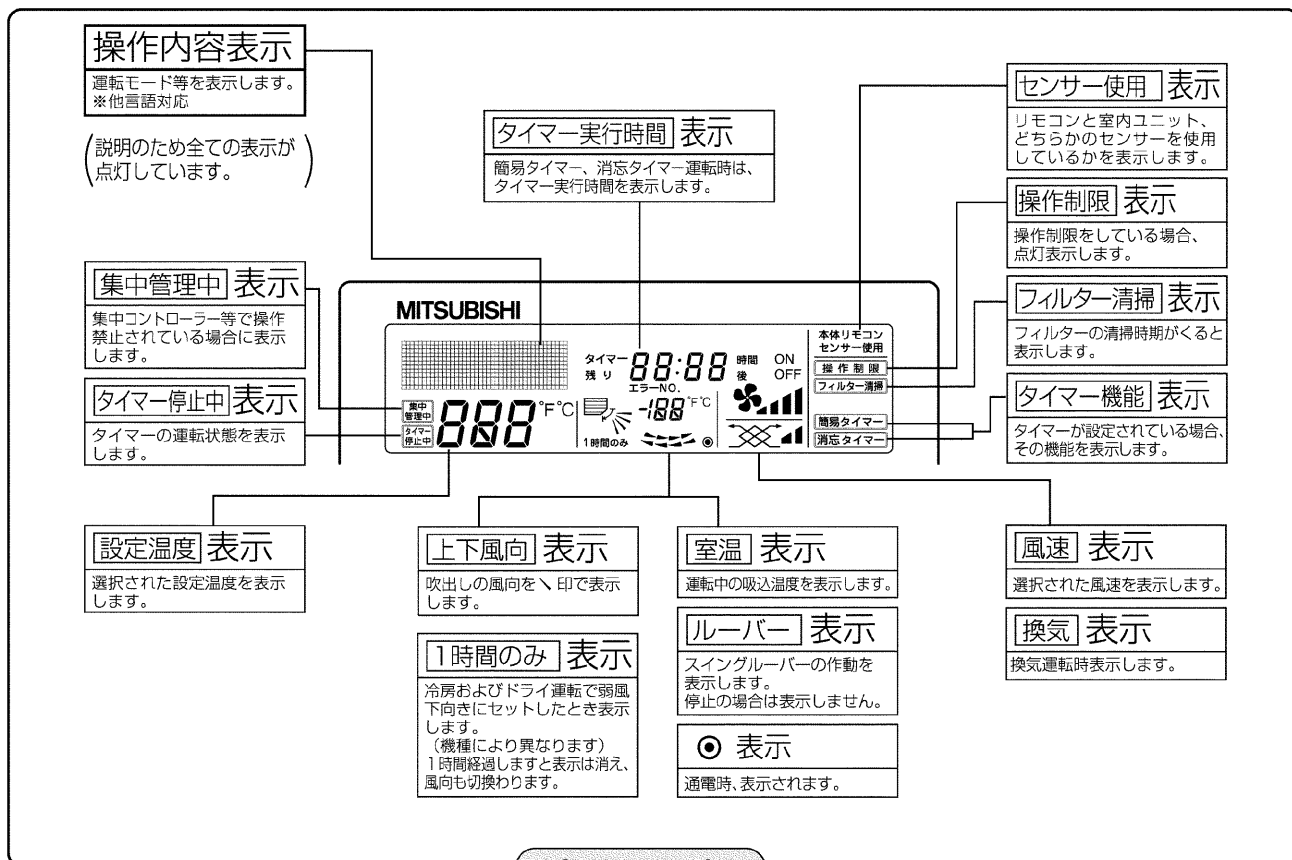
(イラストはMDU-P90A-Cを示します。)



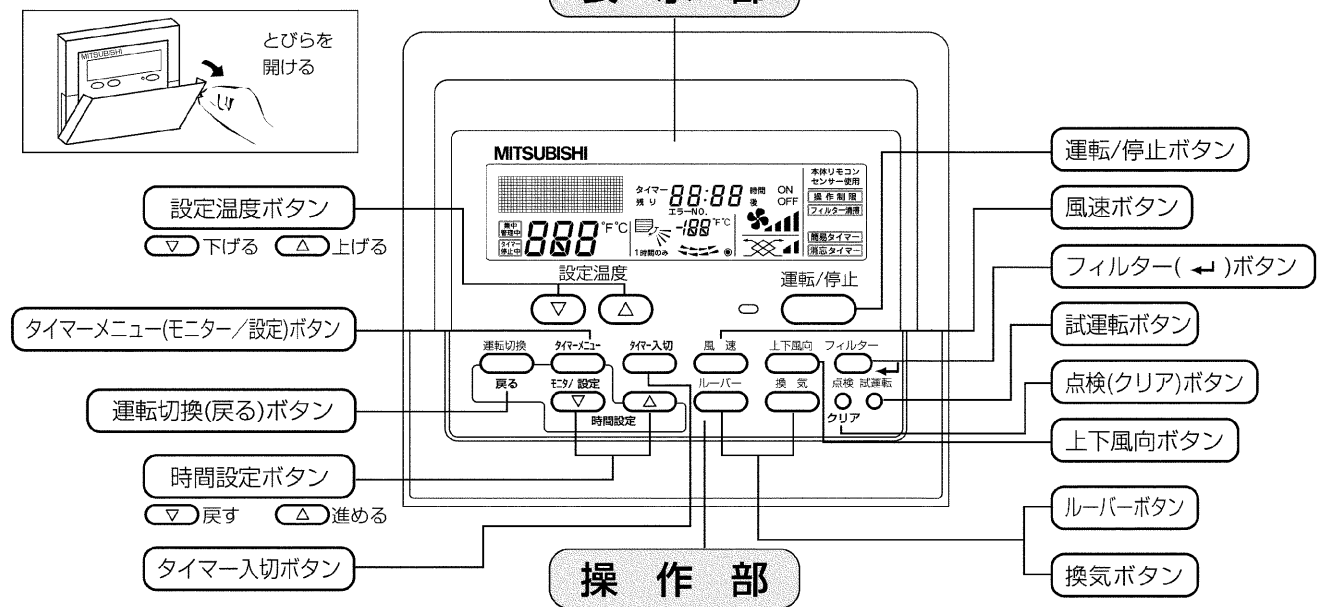
ご使用方法

1 ワイヤードリモコン (別売部品)

MAスムーズリモコン



表示部

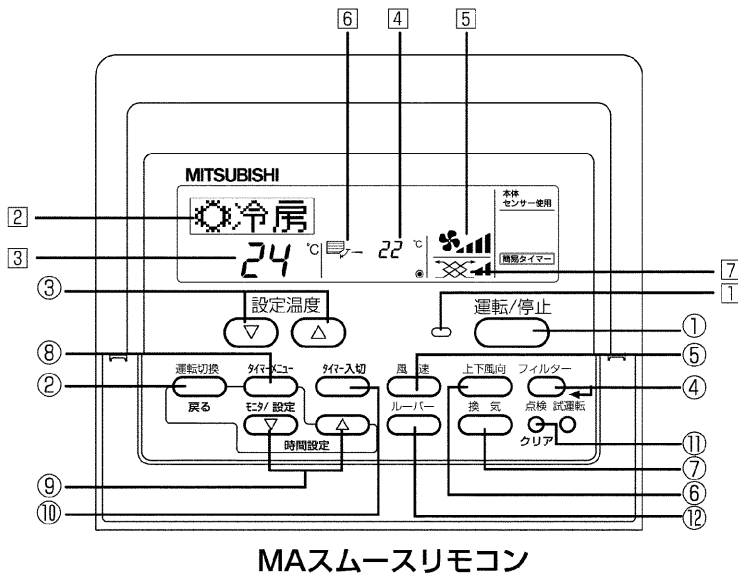


操作部

お知らせ

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には“無効ボタン”と点灯表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

(1) 運転/停止と運転モード、室温調節のしかた



運転を開始するとき

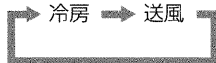
- (運転/停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ①と表示部が点灯します。

運転を停止するとき

- (運転/停止) ボタン①を押す。
- 運転ランプ①と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

- 運転中に (運転切換) ボタン②を押す。
- 1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが②に表示されます。



設定温度を変えたいとき

- 室温を下げたいとき… (設定温度ボタン③)を押す。
- 室温を上げたいとき… (設定温度ボタン③)を押す。
- 1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が③に表示されます。
- 設定できる指定温度は次のとおりです。

	冷房運転	送風・換気
MDK	19～30℃	設定できません
MDC	14～30℃	設定できません

- リモコン機能選択で温度範囲が制限されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、制限中であることが表示されます。

室温表示

運転中の吸込温度が④に表示されます。

お知らせ

- 表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
- 複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。
- 室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“本体”となっております。室温センサー位置を“リモコン”に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコン機能選択で“室温表示なし”が選択されている場合は、室温は表示されません。

(2) 風速・風向調節と換気運転のしかた

風速を変えたいとき

- 運転中に (風速) ボタン⑤を押す。
 - 1回押すごとに以下のように設定が切り替わります。風速が [5] に表示されます。
 - 設定できる風速は次のとおりです。

風速	リモコン表示
MDK	
MDC	表示なし

※機種により設定できる風速が異なります。

上下風向を変えたいとき

本ユニットには風向調節機能はありません。

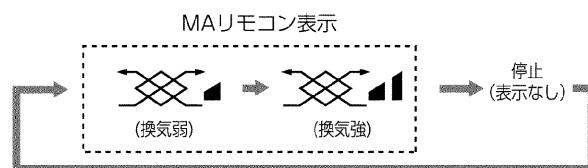
(上下風向) ボタン⑥を押しても“無効ボタン”と点灯表示がでます。

換気運転のしかた

- 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。換気運転が [7] に表示されます。
- 室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
 - 停止中に (換気) ボタン⑦を押す。
運転ランプ [1] と換気運転が [7] に表示されます。

- 換気操作の風速を変えたいとき

- (換気) ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切り替わります。

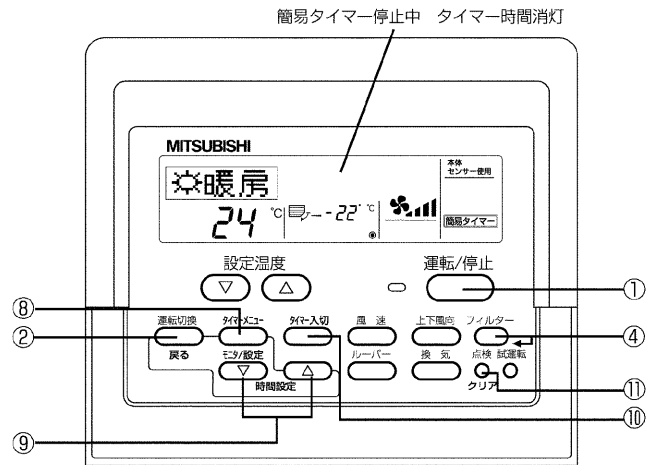


お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。
- (換気) ボタン⑦を押したとき、“無効ボタン”の表示が点灯する場合は、換気装置が連動接続されていません。

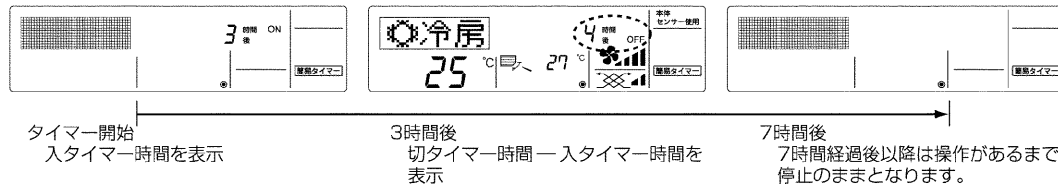
(3) 簡易タイマー運転のしかた

- 簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - 入タイマー運転 : 運転開始時間のみをタイマーで行う。
 - 切タイマー運転 : 運転終了時間のみをタイマーで行う。
 - 入切タイマー運転 : 運転開始/終了時間をタイマーで行う。
- 簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。設定時間は、1時間単位です。
- タイマー運転中には、簡易タイマーの他に消忘れ防止タイマーを選択することが可能です。(MAスムーズリモコンのとき) 消忘れ防止タイマーの選択/設定方法は、次ページ『(4)消忘れ防止タイマー運転のしかた』、P14,P15の『(7)リモコンの機能選択のしかた』、または、リモコンに付属の据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

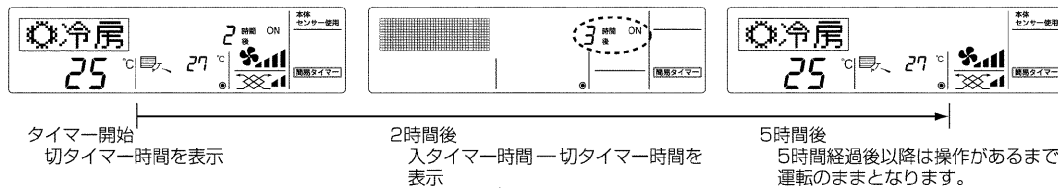


タイマー設定表示例 ※補足 入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示切換について。

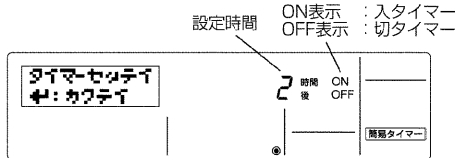
例1) 入タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間：3時間後ON 切タイマー設定時間：7時間後OFF の場合】



例2) 切タイマーから開始する場合 【入タイマー設定時間：5時間後ON 切タイマー設定時間：2時間後OFF の場合】



簡易タイマーの設定のしかた



1. 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を押し、「タイマーセッテイ」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
3. (運転/停止)(ボタン①)を押し、運転開始時間、運転終了時間の設定表示とします。ボタン①を押す毎に、「時間後 ON」と「時間後 OFF」の表示が切り替わります。
 - ・入タイマー(運転開始時間の設定表示) : 「時間後 ON」
 - ・切タイマー(運転終了時間の設定表示) : 「時間後 OFF」
4. (時間設定)(ボタン⑨)を押し、入タイマー(運転開始時間)または切タイマー(運転終了時間)を設定し、(フィルター)(← ボタン④)を押し時間を確定させます。
 - ・入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
 - ・設定範囲時間 : 1~72時間
 - 設定した時間を取消すときは、(点検(クリア))(ボタン⑩)を押し、時間を「--」表示とさせた後、(フィルター)(← ボタン④)を押し確定させてください。

お知らせ

- 確定せずに(運転切換)(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. 入切タイマーを両方使用するときは、2.3.で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
 - ・入切タイマーを同時に設定することはできません。入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は「--」表示の状態としてください。
6. (運転切換)(ボタン②)で、タイマー設定が完了します。
7. (タイマー入切)(ボタン⑩)を押すとタイマー運転が開始され、設定された時間が表示されます。

簡易タイマー設定を確認するとき



1. 液晶に「簡易タイマー」が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を押し、「タイマーモニター」表示とします。ボタンを押す毎に、「タイマーモニター」と「タイマーセッテイ」の表示が切り替わります。
 - ・設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示されます。
3. (運転切換)(ボタン②)を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。
 - ・ボタンを押さない場合も、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

簡易タイマー運転を解除(停止)するとき

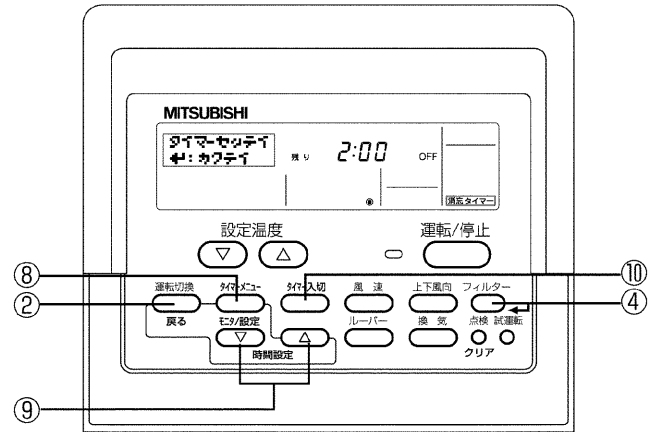
- (タイマー入切)(ボタン⑩)を押し、タイマー設定した時間表示を消した状態とします。

(4) 消忘れ防止タイマー運転のしかた

- 消忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過したときに自動的に空調機を停止させます。
- 消忘れ防止タイマー設定時は、簡易タイマーの設定はできません。
- 消忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。(設定時間は30分単位です。)

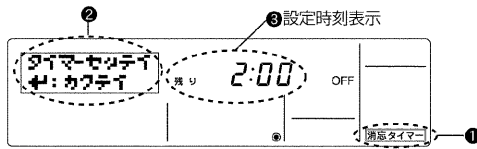
お知らせ

- 下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」
「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中(運転/停止操作禁止)」
- ※簡易タイマー設定中も同様です。



MAスームスリモコン

消忘れ防止タイマーの設定のしかた

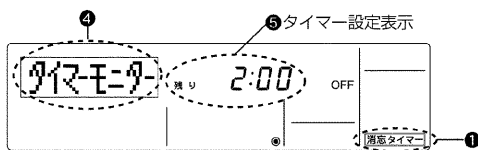


1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、「設定画面」表示 ② とします。ボタンを押す毎に、「モニター画面」と「設定画面」の表示が切替わります。
3. (時間設定)(ボタン⑨)を押して、切タイマー(運転終了時間) ③ を設定します。
4. (フィルター)(← ボタン④)を押して時間を確定させます。

お知らせ

- 確定せずに(運転切換)(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。
5. (運転切換)(ボタン②)で通常画面に戻し、タイマー設定が完了します。
 6. 空調機が運転状態になると、消忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。
必ずご確認ください。

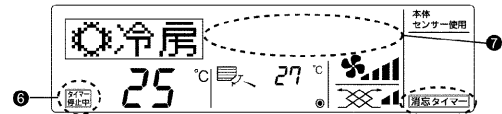
消忘れ防止タイマー設定を確認するとき



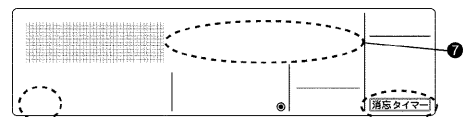
1. 液晶に「消忘れタイマー」が表示 ① されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、「モニター画面」表示 ④ とします。
・設定されている切タイマー時間が表示 ⑤ されます。
3. (運転切換)(ボタン②)を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。

消忘れ防止タイマーを解除(停止)するとき

- (タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」を表示 ⑥ タイマー実行時間表示 ⑦ を消灯させます。

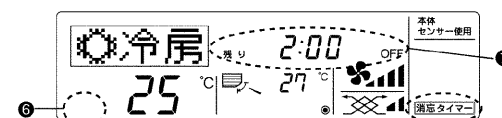


- 空調機を停止させ、タイマー実行時間表示 ⑦ を消灯させます。



消忘れ防止タイマーを運転するとき

- タイマー停止中に(タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、「タイマー停止中」を消灯⑥、タイマー実行時間を点灯表示 ⑦ させます。
- 空調機を運転させ、タイマー実行時間を点灯させます。



(5) 操作ロックのしかた

■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。(操作ロックの機能には次の2つがあります。)
リモコン機能選択で設定します。
リモコン機能選択での設定方法については、P14,15の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。

①全ボタンロック

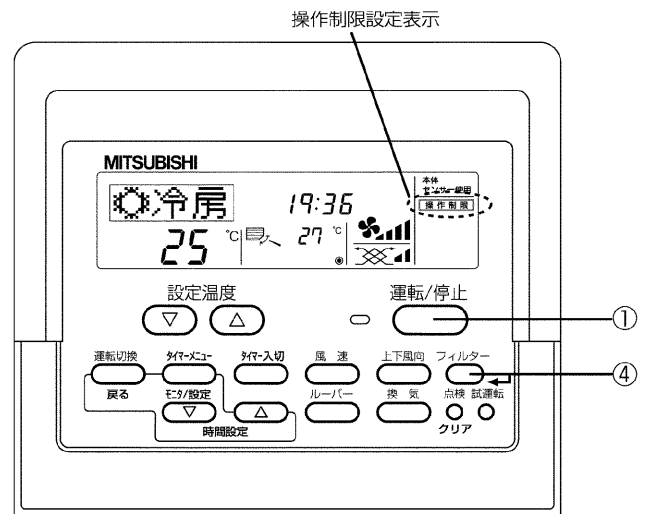
リモコンの全てのボタン操作をロックします。

②(運転/停止)ボタン以外ロック

(運転/停止)ボタン以外の操作をロックします。

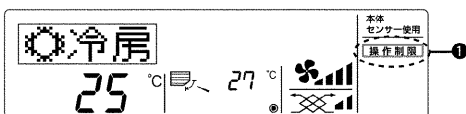
お知らせ

●操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。



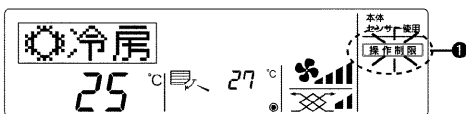
操作ロック設定のしかた

1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして 操作制限 ① を点灯させます。



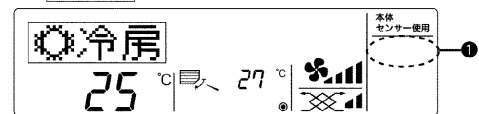
※リモコン機能選択で、“操作ロック設定なし”が選択されている場合は“無効ボタン”が点灯表示します。

2. 操作ロック中に、ボタン操作をしますと、 ① が点滅表示します。



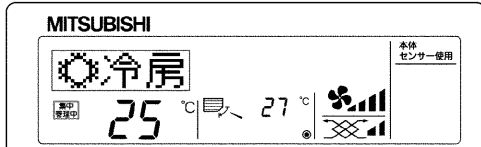
操作ロック設定解除のしかた

1. (フィルター) (← ボタン④) を押しながら、(運転/停止) (ボタン①) を2秒押しして 操作制限 ① を消灯させます。



(6) その他の表示・点滅について

集中管理中表示

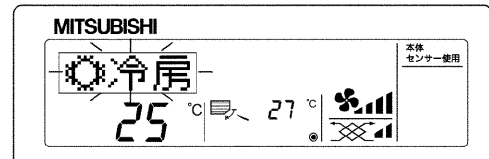


- 集中コントローラー等で、操作を制限しているときに表示します。制限される操作は以下のとおりです。
 - ・運転/停止
 - ・運転モード
 - ・設定温度

お知らせ

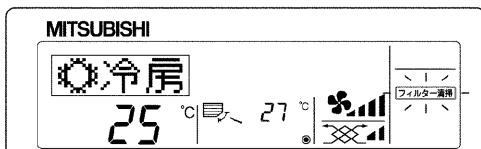
- 個々に制限される場合もあります。
- 氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

運転モードの点滅



- 点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- 点滅した後モードが切替わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅

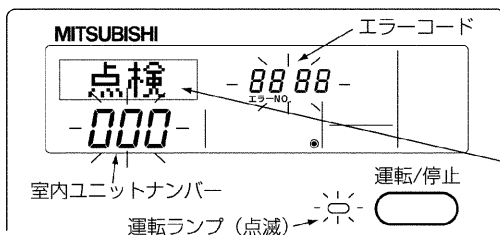


- フィルター清掃時期をお知らせします。フィルター清掃を実施してください。
- “フィルター清掃”表示をリセットする場合
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

お知らせ

- 2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種(親機)の清掃時期が来ると“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。
- “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。

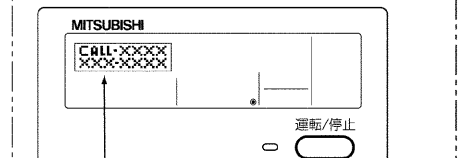
エラーコードの点滅



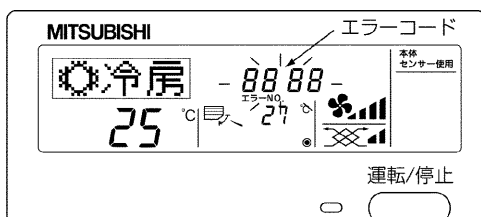
- 「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。ユニットナンバー、エラーコードを確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店または工事店にサービスをお申しつけください。

“異常時の連絡先”が設定されている場合は、異常時に連絡先の電話番号が表示されます。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

※点検ボタン押し時の表示



“異常時の連絡先”が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号を表示します。設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。



- 「エラーコード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）、空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。エラーコードを確認の上、お買い上げの販売店または工事店にサービスをお申しつけください。

(7) リモコンの機能選択のしかた

リモコン機能選択モードでは下記の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切換 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・他言語表示ができます。
2. 機能制限	(1)操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2)自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定にします。
	(3)温度範囲制限設定	・温度調節範囲 (上限・下限値) を設定します。
3. 基本機能	(1)リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切換えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。
	(2)タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(3)異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切換	(1)温度表示℃/F設定	・表示する温度単位 (℃/F) を設定します。
	(2)吸込み温度表示設定	・室内(吸込み)温度表示の有無を設定にします。
	(3)自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

【機能選択の流れ】

[1] 空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する ⇒ [2] 大項目を選択する ⇒ [3] 中項目を選択する ⇒ [4] 小項目 (内容を設定する) ⇒ [5] 設定完了 ⇒ [6] 通常画面に移行する (終了)

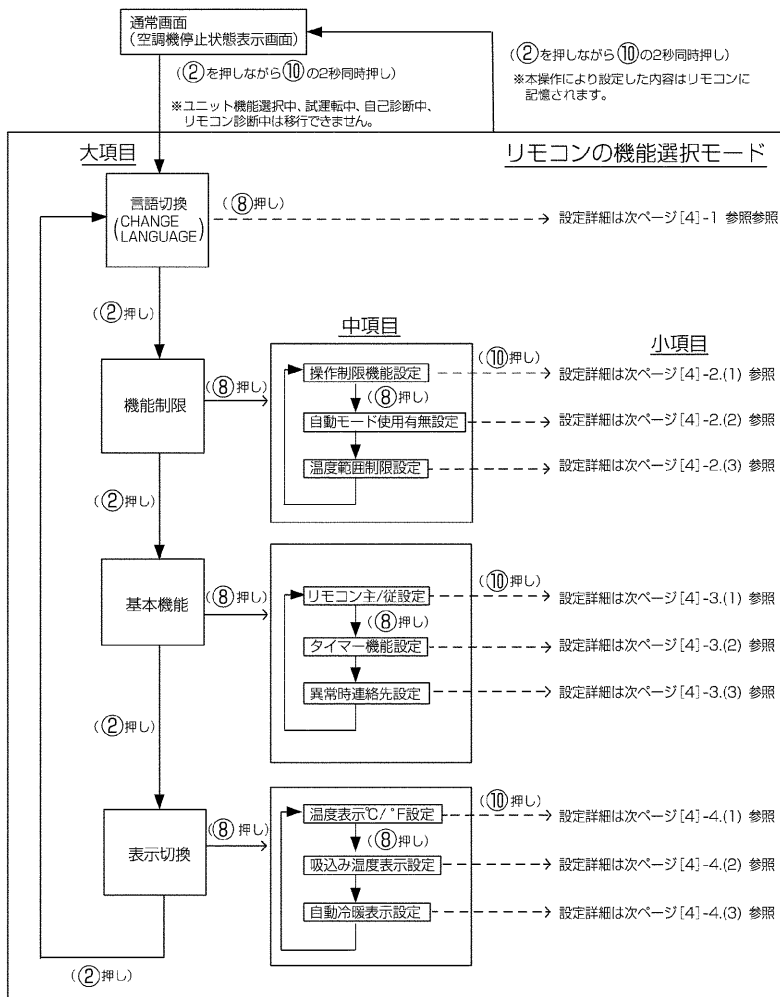


図 1

お知らせ

●リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

ドット表示部 (ドット表示部は言語切換で設定した言語表示となります。本説明書は「日本語」設定の場合です。)

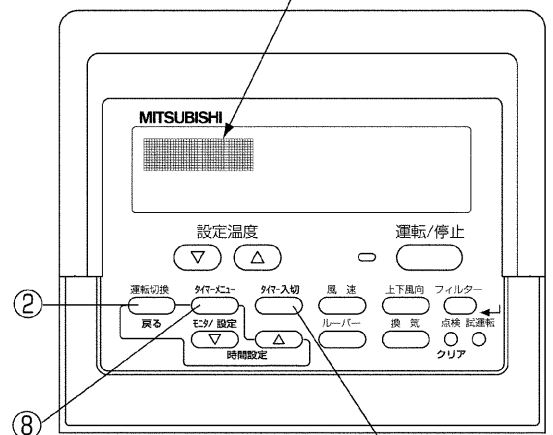


図 2

【設定詳細】

[4]-1. 言語切替設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

[4]-2. 機能制限設定

(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 : 全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF (初期設定値) : 操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作(フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2) 自動モード使用設定

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①ON (初期設定値) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3) 温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①冷房モード : 冷房・ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②OFF (初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていない場合は制限は実行されません。

・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。

・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。

・設定範囲

冷房モード : MDK下限値:19℃~30℃ 上限値:30℃~19℃ MDC下限値:14℃~30℃ 上限値:30℃~14℃

※設定範囲は接続されるユニットにより異なります。

[4]-3. 基本機能設定

(1) リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①主 : 主設定となります。 ②従 : 従設定となります。

(2) タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます(いずれか一つを選択)。

- ①タイマー消忘れ防止 : 消忘れタイマー使用可能となります。
②タイマー簡易(初期設定値) : 簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。

(3) 異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①CALL・OFF : 異常中に設定した電話番号は表示されません。
②CALL・0120 *** ***** : 異常中に設定した電話番号を表示します。
CALL・__ : 左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。点滅しているカーソル()を移動して、数字を設定します。設定温度

△(▽)ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

[4]-4. 表示切替設定

(1) 温度表示℃/°F設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。

- ①℃ : 温度表示単位をセ氏表示にします。 ②°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

(2) 吸込み温度表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

- ①ON : 吸込み温度を表示します。 ②OFF : 吸込み温度は表示されません。

(3) 自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切替えます。

- ①ON : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

お手入れのしかた

⚠ 注意

掃除をする時は運転を停止し、電源スイッチを切る。
●運転中は内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。

⚠ 注意

製品内部の金属エッジに素手で触れない。
●熱交換器などに触れると、けがの原因になります。

エアフィルターの清掃（MDC形の場合）

月に1回、（ほこりの多いところでは回数を多く）清掃してください。（フィルターが詰まると風量が減少し、冷房効果が低下し、そのまま放置すると故障の原因となります。）

●エアフィルターの洗浄

- 1) エアフィルターのほこりを落します。
- 2) 水または中性洗剤を溶かしたぬるま湯でよく洗います。
- 3) 洗ったあとは水を切って陰ぼしします。

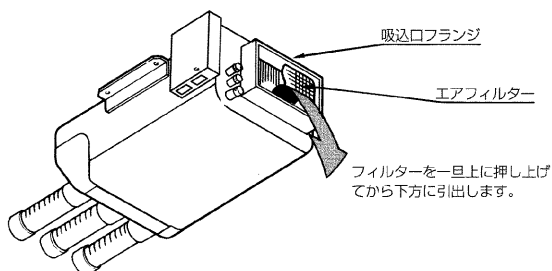
お願い

- フィルターを直接日光に当てたり火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
- 熱い湯（50℃以上）で洗うと変形することがあります。

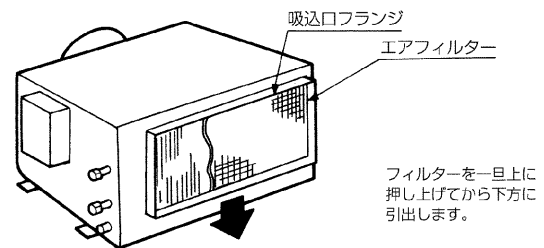
〔フィルターの外しかた〕

フィルターは吸込口フランジに取付けられています。図のように引出します。

MDC-P63LA



MDC-P90・160LA



吸込ダクトを使用するときは、上図エアフィルターは取外して、別に吸込グリル側にエアフィルターをご準備ください。

フィルターの交換・オイル受の清掃・吸込グリルの清掃（MDK形の場合）

●フィルターの交換

フィルターの交換は、使用状況、環境により違いがありますが、1次フィルターは3カ月、2次フィルターは6カ月を目安としてください。特に油煙の多い厨房等でご使用の場合は早目にフィルターを交換してください。（フィルターが詰まると風量が減少し、冷房効果が低下し、そのまま放置すると故障の原因となります。）

※交換用フィルターは25ページ別売品一覧表をごらんください。

●オイル受の清掃

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れをよく落としてから、きれいな水で洗います。
洗ったあとは水を切って陰干しします。

●吸込グリルの清掃

吸込グリルが汚れてきましたら、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れをよく落としてから、きれいな水で洗います。
洗ったあとは水を切って陰干しします。

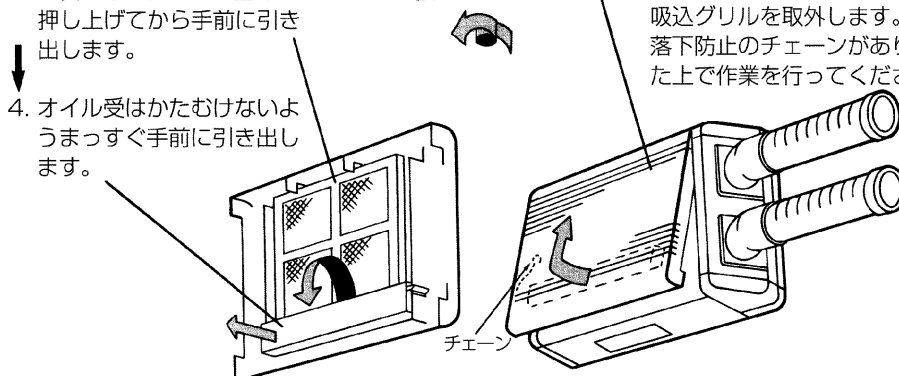
お願い

吸込グリルの清掃の際には、1次フィルター・2次フィルター・オイル受が汚れていないかご確認ください。

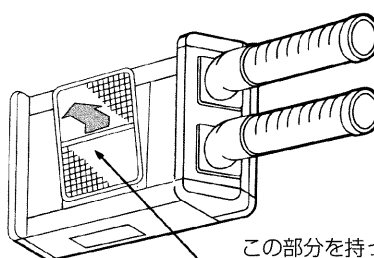
【フィルター・オイル受の外しかた】

1次フィルター・オイル受は吸込グリルに取付けられています。図のように取出します。

1. 下部を手前に引き、全体を上押し上げ、吸込グリルを取外します。（グリル背面に落下防止のチェーンがありますので取外した上で作業を行ってください。）
2. 裏がえします。
3. 1次フィルターは一旦上に押し上げてから手前に引き出します。
4. オイル受はかたむけないようまっすぐ手前に引き出します。



2次フィルターは本体に装着されており、吸込グリルを取外すと、すぐうしろに見えます。図のように取出します。取出したあと熱交換器に手が触れるとケガをする危険がありますので注意してください。



この部分を持って、一旦上に上げてから手前に引き出します。

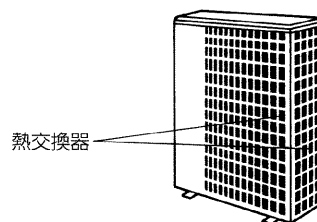
パネルの清掃

- やわらかい布で拭きします。
- 手あか、油類の場合は、やわらかい布に中性洗剤をふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、みがき粉などは、製品を傷めますので使用しないでください。

室外ユニット熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、室外ユニット熱交換器に、ほこりなどがつき、熱交換が悪くなって冷房効果が低下します。

洗浄方法についてはエアコンをお買い求めのお店に、ご相談ください。

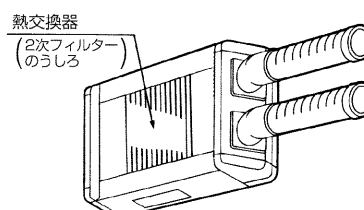


室内ユニット熱交換器の洗浄（MDK形の場合）

油煙の多い厨房等で長時間使用しますと、室内ユニット熱交換器に油が付き、熱交換が悪くなって冷房効果が低下します。

熱交換器の洗浄の目安は3～5年です。

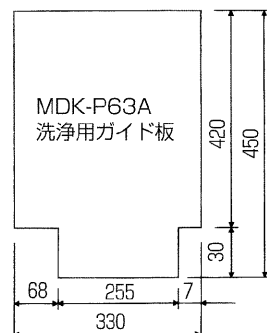
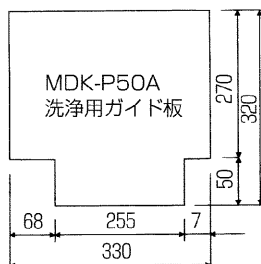
洗浄方法については18～19ページをご覧ください。



室内ユニット熱交換器の洗浄方法（MDK形の場合）

●用意するもの

…ドライバー（+）、ゴム手袋、乾いた布、散水器、洗浄液〔ショーワ[®]製アルミフィンクリーナー（タバコのヤニ、油汚れ除去用）〕、ガイド板〔付属品〕



●洗浄方法

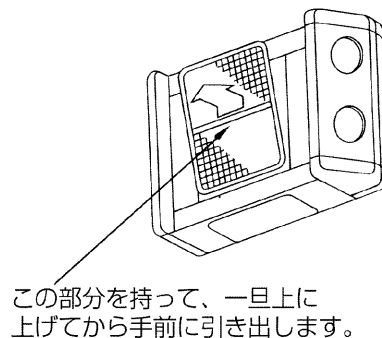
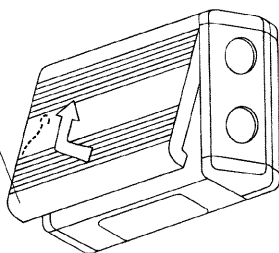
①電源の遮断

リモコンのスイッチを切り、さらに元電源も遮断します。

②部品の取外し

・吸込グリルと2次フィルターを取外します。

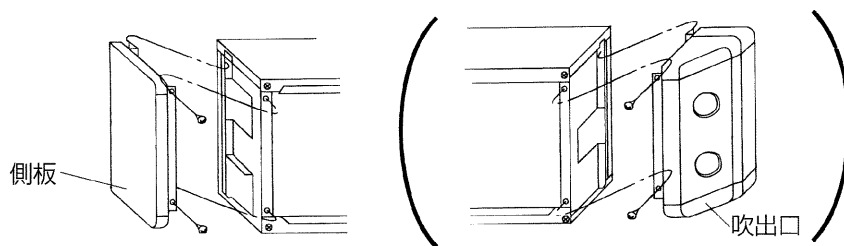
下部を手前に引き、全体を上を持ち上げます。
（グリル背面に落下防止のチェーンがありますので取外した上で作業を行ってください。）



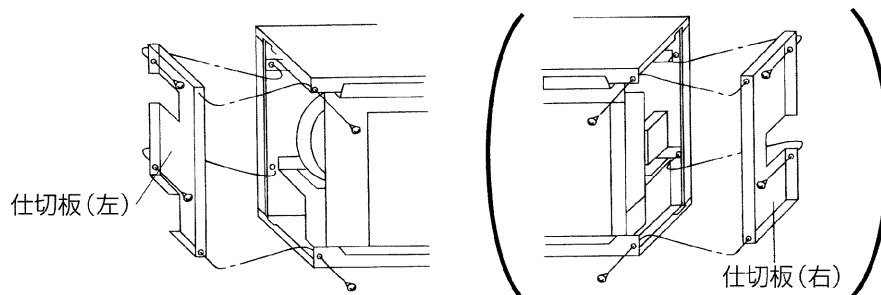
この部分を持って、一旦上に上げてから手前に引き出します。

・側板を取外します。

（側板側に350mm以上のスペースが無い場合は吹出口側を取外します。）

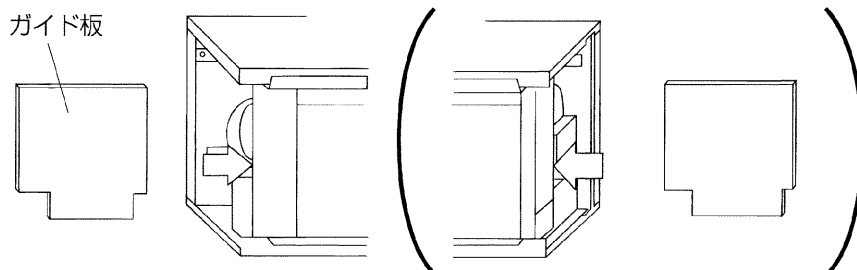


・仕切板（左）を取外します。（仕切板（右）を取外します。）



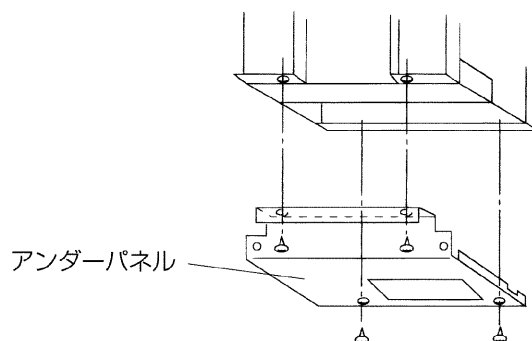
③ガイド板の挿入

洗浄液がドレンパンの中に滴下するよう、ガイド板を熱交換器と送風機との間に挿入します。



④熱交換器の洗浄

- ・ 正面より熱交換器の全面に洗浄液を噴霧します。
(熱交換器以外の箇所に洗浄液がかからないように注意してください。)
- ・ 5～15分放置後再度洗浄液を噴霧し、汚れを剥離させます。
- ・ 水で洗浄液を完全に洗い流します。
(散水は水圧の低いもので行ってください。水圧が高いとユニット内部や電気品箱に水が浸入し故障の原因になります。)
- ・ ドレンパンに約50℃のお湯を流し、詰まりの無いことを確認してください。
- ・ 乾いた布などで熱交換器の水分を十分拭き取ってください。
(アンダーパネル内に水分が残っている場合がありますので、アンダーパネルを取外して確認のうえ拭き取ってください。)



⑤部品の取付け

ガイド板を拭き取り、アンダーパネル・仕切板・側板（又は吹出口）を元どおりに取付けます。

⑥電源の投入

元電源を投入し、リモコンのスイッチを入れてユニットの運転を確認します。

●熱交換器洗浄時のご注意

- ・ 洗浄液は必ず指定のものを使用してください。
(指定以外の洗浄液を使用すると腐食の原因になります。)
- ・ 説明以外の部品は取外さないでください。
- ・ ネジなどを紛失しないように注意してください。
- ・ 洗浄作業の際、部品のエッジなどには十分注意してください。
- ・ 洗浄液の説明書も合わせてご覧ください。
- ・ 不明な点はお買い上げ店にご相談ください。

●指定洗浄液のお問い合わせ先

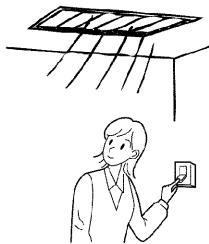
ショーワ(株) 岐阜市長良真町二丁目1番地 TEL(058)-232-1131

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

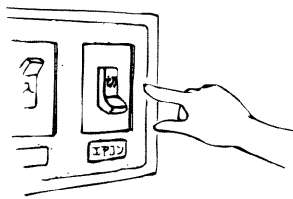
(1) 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となります。



(2) エアコンの電源を切る。

■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



(3) <ワイヤレスリモコン使用の場合>
リモコンから乾電池を取出す。

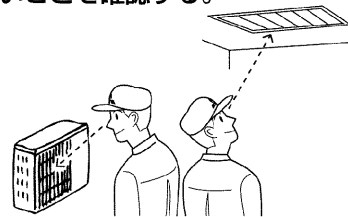
再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

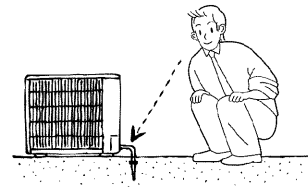
(1) フィルターを清掃して、取付ける。
※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。



(2) 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



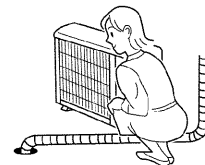
(3) アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



⚠ 注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4) ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5) 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。(必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施してください。最大で4時間運転できない場合があります。)

ようすがおかしいとき

万一、何らかの故障が生じた場合には、ただちに運転スイッチを「切」にしてください。

〔消防法では、故障または破損したものの使用を禁止しています。〕

故障かな？	お答えします（故障ではありません）
よく冷えない。	<ul style="list-style-type: none">■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	<ul style="list-style-type: none">■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	<ul style="list-style-type: none">■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
部屋がにおう。	<ul style="list-style-type: none">■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹き出すためです。※においが著しい場合や、においに違和感のある場合は運転を止め、お買い上げの販売店にご相談ください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	<ul style="list-style-type: none">■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	<ul style="list-style-type: none">■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。
リモコンの運転表示が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（●）が点灯しません。

故障かな？

お答えします（故障ではありません）

再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房運転しない。

■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。再運転をした場合は、冷房運転するまで約3分間お待ちください。

リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。

■“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。
■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始します。
■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。
■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。
※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を停止します。

リモコンのタイマー運転がセットできない。

■タイマー設定が無効になっていませんか？タイマー設定が可能なきは、（簡易タイマー）、（消忘タイマー）のいずれかが表示されています。

リモコンに“PLEASE WAIT”の表示がでる。

■初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。停電からの復帰時や室外ユニットまたは室外ユニット電源を入切した場合など表示します。

リモコンにエラーコードが表示される。

■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。
※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

騒音が仕様値よりも高い。

■室内の運動音は反響などにより、無響音室で測定した仕様値よりも、一般的につぎに示します値程度高くなります。

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室等	応接室、ホテルロビー等	オフィス、ビジネスホテル等
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB

原因を取除いても、正常に戻らない場合は、お買い上げ店へご連絡ください。



保証とアフターサービス

■保証書は室内ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
 - ②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
 - ②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
 - ③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
 - ④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
 - ⑤頻繁な発停のある場所、運転時間が長い場所。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
 また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用品の保有期間について

このエアコンの補修用品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安【保交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルター		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒーター		8年
平滑コンデンサー		10年			

- 注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
 注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に見出し適切な処置を行う事ができます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によく確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

■移設について

- ①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
- ②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

- ①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
- ②次の場所への据付けは避けてください。
 - ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
 - ・粉や蒸気が多量に発生するところ
 - ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
 - ・油煙のたちこめるところ
 - ・海浜地区等塩分の多いところ
 - ・湿気の多い場所
 - ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
 - ・高周波加工機（高周波ウェルダ等）のあるところ
 - ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
 - ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところなど、エアコンの周囲雰囲気等特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
- ④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

- ①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
- ②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。
- ③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- ④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

- ①据え付けにあたっては、エアコンの重量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- ②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- ③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- ④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売部品

別売部品	形名	仕様	適用機種				
			MDC-P63LA	MDC-P90LA	MDC-P160LA	MDK-P50A	MDK-P63A
延長ダクト	PAC-298ED	φ90×5m	●	●	●	●	●
	PAC-297ED	φ125×5m	●	●	●	●	●
	PAC-SS01ED	φ250×2m		●			
	PAC-299ED	φ250×5m		●			
	PAC-SS02ED	φ300×2m			●		
ダクト用止めバンド (各5個人)	PAC-SS11FB	φ90	●	●	●	●	●
	PAC-SS13FB	φ125	●	●	●	●	●
	PAC-SS15FB	φ250		●			
	PAC-SS17FB	φ300			●		
ダクト用吊バンド (各5個人)	PAC-SS23HB	φ125	●	●	●	●	●
	PAC-SS25HB	φ250		●			
	PAC-SS27HB	φ300			●		
吹出口リング (各5個人)	PAC-SS31RG	φ90	●	●	●	●	●
	PAC-SS33RG	φ125	●	●	●	●	●
ニップル	PAC-SS45NP	φ250 (断熱材貼付)		●			
	PAC-SS47NP	φ300 (断熱材貼付)			●		
ダクト中間分岐用T管 (断熱材貼付)	PAC-SS55TP	φ250→φ125		●			
	PAC-SS57TP	φ300→φ125			●		
末端フサギカバー (分岐管装置)	PAC-SS75CP	φ250		●			
	PAC-SS77CP	φ300			●		
ダクト中間分岐口	PAC-SS83DH	φ125～φ90×2	●	●	●	●	●
吹出ダクト	PAC-SS97FD	φ125×1m	●			●	●
ワイドグリル	PAC-388WG	φ125	●	●	●	●	●
オイルフィルター	PAC-SS61UF	使い捨て形(6枚組)	●				
	PAC-SS71UF	使い捨て形(6枚組)				●	
	PAC-SS72UF	使い捨て形(6枚組)					●
	PAC-SS73RF	再生形				●	
ロングライフ フィルター	PAC-SS74RF	再生形					●
	PAC-SS85LF		●				
	PAC-SS87LF			●			
	PAC-SS89LF				●		

別売部品	形名	仕様	適用機種			
			MDU-P50A	MDU-P63A	MDU-P90A	MDU-P160A
M-NETアダプター	PAC-SH34MA		●	●	●	●

仕様表

●セパレート天吊形 (ワイドレンジ)

項目		MDC-P63LA-C-ST		MDC-P90LA-C-ST		MDC-P160LA-C-ST	
		室内MDC-P63LA-C	室外MDU-P63A-C	室内MDC-P90LA-C	室外MDU-P90A-C	室内MDC-P160LA-C	室外MDU-P160A-C
冷房能力(kW)		6.3		9.0		16.0	
外装<マンセル記号>		室内：マンセル <5Y 8/1>, 室外：マンセル <3Y 7.8/1.1>					
外形寸法 (mm)	高さ	330	600	476	740	476	1350
	幅	580	800+(69)	670	950	820	950
	奥行	800	300	569	330	569	330
製品質量(kg)		39	58	43	64	49	113
電源		三相 200V 50/60Hz					
送風機風量(m ³ /min)		13.5	34	21	50	35	95

●セパレート壁掛形

項目		MDK-P50A-C-ST		MDK-P63A-C-ST	
		室内MDK-P50A-C	室外MDU-P50A-C	室内MDK-P63A-C	室外MDU-P63A-C
冷房能力(kW)		5.0		6.3	
外装<マンセル記号>		室内：マンセル <3.4Y 7.7/0.8>, 室外：マンセル <3Y 7.8/1.1>			
外形寸法 (mm)	高さ	485	600	615	600
	幅	680	800+(69)	680	800+(69)
	奥行	270	300	270	300
製品質量(kg)		26	43	29	43
電源		室内 单相 200V 50/60Hz (室外より電源重畳) / 室外 三相 200V 50/60Hz			
送風機風量(m ³ /min)		強11-弱9.0	34	強13.5-弱10	43

- 「/」で示される数値は左が50Hz、右が60Hzで、その他の数値は50・60Hz共通です。
- 電気特性は製品に貼り付けている製品銘板に記名しています。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

スポットエアコン補修用性能部品の最低保期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、
このようなことは
ありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご
使用
中止

故障や事故防止のため、電源
を切り、必ず販売店に点検・
修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買い上げ店名

電話

お買い上げ(据付)日

年

月

日



〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04884X01